



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創立 1969. 5. 30 会長 中谷佳正
幹事 浅井 晃 会報委員長 宮田 正人

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2437

2019-10-18

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
https://osakajonan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェイトンホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30



ROTARY CONNECTS THE WORLD

ロータリーは世界をつなぐ

2019-2020年度国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー

本日の例会) 10月18日(第3例会)

●新会員自己紹介 平田芳久会員

次週のお知らせ) 10月25日(第4例会)

- 卓話 「エッフェル塔と東京タワーの話」 小原一眞会員
- 食膳 <日本料理 和定食>

次々週のお知らせ) 11月1日(第1例会)

●卓話 「ロータリー米山記念奨学事業について」
2019-20年度 地区米山奨学委員会
委員長 廣瀬彰久氏
(R財団・米山委員会 山口 寛委員長担当)

先週の記事) 10月11日(第2例会)

●出席報告

出席会員 31 名 (内免除会員 9 名)
 会員総数 44 名 (同上 15 名)
 ゲスト 1 名
 ヴィジター 3 名
 計 35 名
 ホームクラブ出席率 51.58%

9月27日(第4例会)補正出席率 100%(MU 5名)

●ゲスト&ヴィジター(敬称略)

四宮孝郎(ガバナー)
高谷晋介(地区代表幹事)
菰田真理(地区幹事)
藤井英喜(大阪西南)

◆会長の時間◆

四宮ガバナー、ようこそお越しくださいました。会員一同心より歓迎申し上げます。

今期も約1/4を過ぎたところで今年度の当クラブの重点項目を再確認しておきたいと思っております。

①会員増強 先日のアンケートで皆様よりご意見、

情報を頂きました。約17名の候補者がおられますが、増強委員会と十分連絡を取り、それぞれの方々へのアプローチを強めていきたいと思っております。

②「春のRYLA」梅崎委員長を中心に進めて頂いております。11月2日から4日まで秋のRYLAが箕面で行われます。当クラブからも参加して頂きますが、これが終わればよいよ私たちの番という事で準備も忙しくなります。本番は勿論ですが、各クラブを回ってのPRなど総動員になると思われまます。皆様のご協力よろしくお願ひします。

③ローターアクト支援 まだまだ手探りではありますが、今が大切な時期だと思ひます。会員の皆様には、あくまでもオブザーバーですが、出来るだけご出席頂きご意見ご指導お願ひします。

④親睦と例会 三宅SAA、南賀副SAAそして親睦委員の皆様のお陰で楽しい雰囲気のお例会にして頂いていると思ひます。今後とも引き続きよろしくお願ひします。

⑤ITの活用 現在、IT委員会と親睦委員会合同で会員紹介サイトを立ち上げるべく準備をして頂いております。よろしくお願ひします。

以上が本年度の重点項目の現状です。引き続きお願ひ致します。

毎月、第1例会ではガバナー月信のご紹介をさせて頂いておりますが、本日はこの後、直接、四宮ガバナーよりご講話を頂きます。会員の皆様にはご清聴よろしくお願ひ申し上げます。

◆幹事報告◆

・今月のロータリーレートは、1\$ = ¥108です。

・地区から

令和元年 台風15号千葉県災害義捐金の協力依頼が参っております。その中で、義捐金への協力は決して強制するものではなく、各クラブの判断に任せる旨と、将来的には地区特別会計に災害支援積立金を設定し、この度のような緊急災害支援に地区として備えることを検討してゆきたいとのコメントがございました。

・地区大会について

本日、地区大会のPRチラシを配布致しております。

・2020-21年度地区委員会 出向者を募集が参っております。

中谷会長・村上(泰)会長エレクトに回付致しております。

・IM第6組内各クラブ・フレッシュ・ロータリアン委員会より

10月17日(水)開催の委員会資料が届いております。石濱・田中・泉各委員に回付致しております。

◆ 委員会報告 ◆

R財団・米山奨学委員会 山口 寛委員長
先週例会時にロータリー米山記念奨学事業
2019-20年度版の豆辞典を皆様にポストさせて
頂きましたが、今月は私共ロータリークラブにとっ
て大切な米山月間にあたっています。当クラブに
とりましてこの月間に因みまして一層のご寄付の
増進に努めたいと思っています。今日も9月度と
10月第2例会までにご寄付を頂きました会員をご
披露致します。三宅会員、尾崎(敬)会員、岡倉会
員、村上(泰)会員、梅崎会員で、特に岡倉会員に
は多額のご寄付を頂きました。引き続き、皆様にも
よろしく願ひ致します。

雑誌・広報委員会 宮田正人委員長
「ロータリーの友」2019年10月号紹介
【横組記事より】

P.7 ようこそ日本へ！ マローニーRI会長夫妻
8月2日-10日、マーク・ダニエル・マローニーRI会長
とゲイ夫人が来日。RI会長に就任して初となる海
外訪問の地に日本を選ばれました。「三木 明RI理
事のリーダーシップの下、日本の各地でロータリ
アンに出会い、日本のロータリアンがロータリー
を通じ、地元や海外の地域社会に、とても大きな
インパクトをもたらしていることを知る旅となりま
した。」と述べられています。また、今回の来日では
青森県八戸、福島県浪江と相双(相馬・双葉)地
方、東京、神奈川県鎌倉、名古屋と精力的に訪問
され、各地区での活動の様子が紹介されています。

P.24 ロータリー学友とロータリーの懸け橋
第2660地区学友委員会の山本博之委員長(大阪
東RC)が「目指すは知名度の向上」というテーマ
で寄稿されています。当地区のロータリー学友会
は2017年5月13日に国際ロータリー(RI)加盟認
証状伝達式を行い、「日本で最初のロータリー学
友会」として正式に発足しました。この式に出席し
た学友は38人でしたが、現在では約140人にまで
増えました。また、現在ロータリアンとなった学友
も13人います。ロータリーの地区学友委員会と
ロータリー学友会の役員が集まる月1回の合同会
議では、知名度の向上と総会以外の活動について
議論、検討を続けています。

P.34 侃侃諤諤 例会の服装、どうしていますか？
「必ずスーツ」？「忙しいときは作業着でもOK」？
会員の皆さまに自クラブの事例、ご意見をうかが
いました。

P.38 ポリオサバイバーとして ロータリアンとして
第2770地区の小林 操ガバナー(越谷北RC)
「1955年(昭和30年)当時、実家は東京都世田谷
でしたが、まだ井戸水を飲んでいました。後から考
えると、井戸水から感染したのは確かなようです。
家の周りでは既に水道が普及していましたが、井
戸水で不自由がなかったのが、ポリオ感染の原因
となってしまった。」と寄稿されています。また母が
残した手記(小林絹子著『強く明るく生きよーわが
子に寄せる愛の手記』)にも当時の様子が鮮明に
記されています。

【縦組記事より】

P.9 この人訪ねて 工藤誠一氏(横浜RC)・・・聖光
学院校長
聖光学院はミッション系の中高一貫の男子進学
校として知られる。2019年春、東京大学合格者
が過去最高の93人を記録し、高校別で神奈川県
1位、全国4位になった。東大進学者上位校は開成、
筑波大学附属駒場、麻布、灘の4強体制が15年
ほど続いていたが、今年ついに聖光が灘を抜き
「4強の壁を破った」と受験界で大きな話題となっ
た。ただ、ガリ勉の進学校のイメージと実際の聖光
学院はずいぶんかけ離れている。工藤さんは「学
校に縛り付けない教育」を目指していると言い、
「子供たちが自由に考え、自由に発言し、かつ、自
分で自分を律する自由を持つことを大切にしてい
ます」と話されています。聖光学院は2011年の東
日本大震災の際、学校全体で80人の高校生ボラ
ンティアを募り、同年6月に岩手県宮古市で支援
活動をしたが、翌年からは同校のインターアクトク
ラブが東北の支援活動を引き継いだ。16年まで
続け、同じ年の熊本地震のボランティアにもイン
ターアクトが駆け付けた。メンバーは人身売買が
横行するタイの山岳部族の子どもたちの支援施設
へのボランティアにも派遣されるなど、国内外で
奉仕活動をしている。

ゴルフ部 宮田正人キャプテン
本日、第2回ゴルフコンペのご案内をポストして
おります。諸般の事情により当初予定してありまし
た花屋敷ゴルフ倶楽部吉川コースから小野グランド
カントリークラブNEWコースへ変更して開催す
る運びとなりました。
場所 小野グランドカントリークラブ
〒675-1304 兵庫県小野市中谷町1413
TEL:0794-67-1500
日時 令和元年11月24日(日)
第1組目 9:45ニューINスタート

◆ ガバナー講話 ◆

国際ロータリー第2660地区ガバナー 四宮孝郎氏
マーク・ダニエル・マローニー
RI会長テーマ
“ROTARY CONNECTS THE WORLD”
～ロータリーは世界をつなぐ～
マローニー会長はこのテーマ
を決めるにあたり、次のような思
いを語っておられます。

『ロータリーを通じて、私たちはつながります。
ロータリーで私たちは、お互いの違いを超え、深
く、意義あるかたちでお互いにつながるものが
できます。ロータリーがなければ出会うことがな
かった人びと、職業上の機会、私たちの支援を必要
とする人たちとのつながりをもたらしてくれます。
私たちは互いに、また地域社会とつながり、同じク
ラブの会員だけでなく、私たち全員が属する世界的
コミュニケーションの人たちとつながっています。
ロータリーでの体験の中核にあるのが、このつな
がりです。それがあから、私たちはロータリーに
入会し、ロータリーにとどまるのです。ロータリー
を成長させる方法にもつながります。-そして、これ



〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

が2019-2020年度のテーマです。比類なき基盤を有するロータリーを通じて私たちは、人類の素晴らしい多様性につながり、共通の目的を追求しながら未永く深い絆をつくり出します。』

この身近な言葉で語られているRI会長テーマに基づき、2019-2020年度 第2660地区年次目標を6項目掲げました。

1. クラブビジョンの策定

近年、国際ロータリーでは、柔軟性と多様性が強調されており、大きな潮流の変化は加速度的に進んでいます。その為私たちの地区、及びクラブの地域特性、歴史、規模に合った独自のビジョンを策定する必要があります。

まずクラブ内の分析をしなければなりません。

- ・年齢分布表(10年前・5年前・現在)
- ・平均年齢(10年前・5年前・現在)
- ・過去10年間の入退会者数

この分析結果をもとにクラブ内で話し合う機会を作り、会員相互で問題意識を共有しましょう。そして「変えてはならないロータリー」「変えなければならないロータリー」を各クラブにて明確にしましょう。

2. 会員基盤の強化を計る

職業分類制度を今一度見直し、男女の構成比、及び年齢別分類の分析をもとに、多様な会員の入会を促進する必要があります。一方で会員が退会する原因を把握し、その改善に努めなければなりません。

3. ポリオ撲滅への協力

ポリオ撲滅はロータリーの最優先事項であり、世界中で撲滅されるまで、この活動を続けなければなりません。

4. ロータリー財団への寄付増進

- ・年次基金 1人あたり150ドル
- ・ポリオ基金 1人あたり50ドル
- ・恒久基金 ベネファクター 各クラブ1人以上

5. 米山記念奨学会への寄付増進

1人あたり3万円

6. 公共イメージの向上を図る

IMロータリーデーやクラブ事業等を利用して、会員以外にロータリーに触れて頂く機会を設けることを強く推奨致します。

- ・My ROTAR登録率 60%以上
- ・クラブセントラル活用率 75%以上

～～～～～

クラブへの強調事項

① 効果の持続性が期待される有意義な奉仕事業(活動の絞込み)

近年、残念ながら会員数が減少しているクラブにおいては、各奉仕部門の委員会を兼務されている委員長もおられます。その状況でも充実した奉仕活動を実践されていることは素晴らしいことですが、ともすれば単に過去の活動の踏襲に陥り、検証すれば実際のニーズと離れたものになるケースがあるかもしれません。

今年度は、再度検証され、奉仕活動を絞り込み、より一層有意義な活動をされることも選択肢の一つとして推奨致します。

② ロータリーファミリーの絆を深める

ロータリーファミリーとは、青少年奉仕部門(インターアクト・ローターアクト・青少年交換・RYLA)

や米山奨学生、財団奨学生等ロータリープログラムのメンバー、並びに卒業・経験者であるロータリー学友の人たちを表します。

このロータリーファミリーの絆を深めることが、これからのロータリーを支える礎となります。様々な機会を捉えて会員の方にファミリーの活動を知って頂きましょう。

③ ロータリー賞の獲得を目指す

ロータリー賞の獲得は決して困難なものではありません。目標を立て、是非各クラブが獲得されるように目指してください。

～～～～～

私は、次年度地区スローガンを設定するにあたり、2つのことを思い描きました。

① 常に相手の目線に立ったロータリーの奉仕活動を私たちは奉仕活動をする際、常に相手の方に寄り添い、同じ目線に立って計画し、実施して参りましょう。これにより真のニーズが把握でき、より実りの多い活動となることでしょう。そして感動と共に奉仕の喜びを分かち合いましょう。

② 新会員と共に

入会3年未満の会員の退会理由には、様々なものがあると思いますが、真の理由は「寂しさ」にあると思います。新しい仲間へ寄り添い、新たな友人が出来た喜びを分かち合いましょう。それがロータリーの発展にもつながります。

そこで地区スローガン

“Stand By You” ～あなたと共に～を掲げました。

これからの1年間クラブの皆様と共に考え、悩み、歩み、そして楽しんでまいりたいと思っています。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ここにこ箱

10月11日(第2例会)

・四宮ガバナー、ようこそお越しくございました。

岡部(泰)会員

・四宮ガバナー、ようこそお越しくございました。

境会員

・四宮ガバナーをお迎えして。 中谷会員

・四宮孝郎ガバナーをお迎えして。

浅井会員

・四宮ガバナー、ようこそおいでくださいました。

・長期欠席お詫び

岡部(倫)会員

・四宮ガバナー、ようこそおいでくださいました。

金山会員

・外国および国内での行事の為、しばらく休んでいました。また、会員増強活動に取り組みますので、皆様のご協力をお願いします。

中本会員

・その他、お祝い 1件

(編集担当 宮田・岩永)

会員増強にご協力を!!